

各位

会社名 桂川電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 渡邊正禮
 (JASDAQ コード番号 : 6416)

問合せ先
 役職・氏名 常務取締役 朝倉 敬一
 電話 03-3758-0181

平成30年3月期 通期連結業績予想の修正及び営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年11月13日に公表しております平成30年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正するとともに、平成30年3月期第3四半期連結累計期間における営業外収益(為替差益)の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

平成30年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	10,990	100	80	15	0.98
今回修正予想(B)	9,200	△ 560	△ 310	△ 300	△ 19.58
増減額 (B-A)	△ 1,790	△ 660	△ 390	△ 315	—
増減率 (%)	△ 16.3	—	—	—	—
ご参考: 前期実績(平成29年3月期)	10,694	△ 993	△ 1,182	△ 1,056	△ 68.95

修正の理由

主な要因といたしましては、大判型カラープリンタの新製品を投入しましたが、付加価値を高めるための付加機能を追加したこと等で時間を要してしまい、北米や欧州での市場への導入が遅れたこと等により、売上に大きな影響が出てしまいました。

また現在、販売戦略の再構築、製品構成の見直しによる粗利益改善、費用削減など、売上げの増加や利益率悪化の改善に取り組んでおりますが、アジア経済の減速による中国、ロシアなど新興市場における販売低下、国内及び海外での依然として止まらない企業間価格競争の激化等で売上げの減収は続き、調達部材等のコスト改善の遅れも重なるなど、期末に向けての改善効果は薄く、海外主体である当社グループの事業環境は厳しい状況が続くものと見込まれるため、これらの状況を踏まえ通期連結業績予想を修正するものであります。

2. 営業外収益(為替差益)の計上について

1. 発生の概要

平成30年3月期第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日)において、為替相場の変動により営業外収益に為替差益1億92百万円を計上いたします。

これは主として、平成29年12月末の第3四半期末時点において、当社グループが保有する外貨建債権債務を同日の為替相場で評価替えしたことにより発生した評価益であります。

なお、当該為替差益は平成30年3月期第3四半期末時点での為替相場による換算差額であり、平成30年3月期の決算におきましては、期末日の時価により為替差益の額は変動いたします。

2. 業績に与える影響

上記の営業外収益(為替差益)につきましては、本日開示の「平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に織り込み済みであります。

(業績予想に関する留意事項)

なお、上記の通期連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。また、本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済や為替の動向等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後もこれらの影響額が判明し大きく変動した場合は、開示基準に従って速やかに開示いたします。

以上